

日本海ケーブルネットワーク株式会社（NCN）

2015年度放送番組審議会議事録

■日時：2016年2月29日（月）午後1時半～3時

■場所：日本海新聞本社ビル6階会議室（鳥取市富安2丁目137番地）

■出席者

審議委員：河村壮一郎（会長、鳥取短期大学教授）、福田京子（副会長、地域づくりネットワーク代表）、福島勝平（鳥取市情報政策室長）、藤井拓也（倉吉市総合政策課広報課長補佐＝代理出席）岩本浩嗣（三朝町企画観光課主任＝代理出席）亀井雅信（岩美町企画財政課主事＝代理出席）藤井博美（三朝町三朝区長）佐々木千代子（いんしゅう鹿野まちづくり協議会理事長）澤田真之介（鳥取銀行本店営業部次長＝代理出席）

※役職は当時、敬称略、順不同

NCN：富長一郎（常務取締役）、西尾広海（編成制作部広告課シニアマネージャー）川口耕（編成制作部制作課長）中嶋信行（倉吉放送センター編成制作担当係長）

■報告事項

①2015年度の取り組みについて

NCN地域情報チャンネル、減災・ライブチャンネル、岩美町チャンネル、中部チャンネルのそれぞれについて2015年4月1日から2016年1月31日までの取り組みを報告した。

②CS提供番組における光点減事案について

2014年12月に番組供給会社スペースシャワーネットワークから供給された番組放送で起きた光点減問題に対する対応を報告。放送番組基準の一部改定などの取り組みを説明した。

③チャンネルプランの変更について

CS自主制作放送の「お天気チャンネル（018チャンネル）」のハイビジョン化や専門チャンネルのフーディーズTVの終了に伴うチャンネル変更について報告した。

④放送事故について

期間中にエリア内で発生した放送事故について報告。

■協議事項

・自主放送番組について

NCNのニュース番組「ピットステーション」や地域の公民館を訪ねる新コーナー「笑顔あつまれ！公民館」、他のケーブル局との共同制作番組など、NCNと岩美町チャンネルが放送した番組をVTRで紹介し、意見を募った。

委員からの意見、提言と事務局の回答は次の通り。

(委員) 全体的に住民の視聴を前提にした番組内容で独自色と温かみを感じた。また、自治体が制作した介護予防体操を番組に組み入れてもらい、放送を通じて実践する方が増えたという声を聞いた。引き続き地域密着の姿勢、温かみのある番組作りを大切にしてほしい。

(委員) 公民館や部活を題材にしたコーナーにより、以前よりも幅広い年齢層が画面に登場するようになったと感じた。今後は20代から働き盛りの40代といったテレビ離れが進む世代をターゲットにした番組作りに取り組んでみるのもよいのでは。

(委員) 教えて！ホームドクターは良い番組内容なので2カ月に1回という現在の更新頻度を増やすことも考えてみてはどうか。

(委員) 同じような地域課題を抱えている自治体が多い中、他の地域の議会で地域課題がどのように議論されているのか関心がある。放送エリアを超えて周辺地域の議会中継を見られるようにはできないか。

(事務局) ケーブルテレビはエリア内の情報を伝えることが最も大切な使命だが、番組交換という形で近接するケーブルテレビ局と連携できないわけではない。県中部については広域行政団体からも番組交換の要請が寄せられており、話し合いを続けたい。

(委員) 地域への密着度を高めるには、市民が直接番組制作に関わる参加型の手法もあると思う。地域ニーズの吸い上げをどのように取り組もうとしているのか教えてほしい。

(事務局) 以前は地域の出来事を取り上げることがそのまま地域密着となり得たが、その在り方は変化していると感じており、試行錯誤を繰り返しているのが現実だ。視聴ニーズを一層細かく分析した上で、常に改善に取り組む姿勢やマーケティングの

観点を大事にしていきたい。

(委員) 4Kについて今後の取り組み方針は。

(事務局) データ量が多いので現時点で生放送向きではないが、希少性、アーカイブ性の高いものをまずは撮影していきたい。インターネットを使った配信は可能になりそうなので、近い将来、これを記録しておきたいという地域の要望に応じられるようにしたい。現時点でも画質を落とせば放送することが可能なので、技術の習得、習熟を図るためにも取り組みを進めていきたい。

(委員) 県中部では小規模な群発地震が相次いでいる。こうした情報を速報できないものか。

(事務局) 安全や安心に関わる情報は減災・ライブチャンネルに集約し、自治体などから発信される情報を速報的に伝えられる仕組みを整えている。ただ、地震であれば震度3以下の情報は発信されないなど、運用上はまだ改善点がある。意見を踏まえて検討を進めたい。

(委員) アーカイブは懐かしいという声も聞くのでぜひ機会を増やしてほしい。

(事務局) ケーブルテレビには地域の記憶装置としての役割もあるので積極的に放送機会を増やしていきたい。